

てっとりばやく、NSD。忘れる自分むけ。

まずは、nsd.conf の man に例が載っているのでそれを読み。たいていはそれでおけ。

あとは、最初にインストールされる、nsd.conf のサンプルのコメントでじゅうぶん。

nsd.conf のゾーンの書き方

master

```
zone:
    name: "example.jp"
    zonefile: "example.jp"
```

これだけ。slave がいる時は、

```
zone:
    name: "example.jp"
    zonefile: "example.jp"
    provide-xfr: 10.0.1.2 NOKEY
    notify: 10.0.1.2 NOKEY
```

と、書く。"NOKEY" はいる。(10.0.1.2 はスレーブサーバの IP アドレス。)

どっからでもゾーン転送を許可しないとイケない(組織内 DNS サーバとかの)場合の、provide-xfr の書き方は、man を見よう。ちゃんと書いてある。

TSIG するときは、

```
key:
    name: "tsig.example.jp"
    algorithm: hmac-md5
    secret: "9xxXX9X9xXXXXxX9XX+XxxxX9xXxXXxXXxxxX9xx="

zone:
    name: "example.jp"
    zonefile: "example.jp"
    provide-xfr: 10.0.1.2 tsig.example.jp
    notify: 10.0.1.2 NOKEY
```

とか書く。

TSIG の鍵は nkf をインストールして、

```
dd if=/dev/random count=1 bs=32|nkf -MB;echo
```

などとすると、よい。

slave

```
zone:
    name: "example.jp"
    zonefile: "example.jp.slave"
```

```
allow-notify: 10.0.1.1 NOKEY
request-xfr: 10.0.1.1 NOKEY
```

などを書く。

TSIG するときには、

```
key:
  name: "tsig.example.jp"
  algorithm: hmac-md5
  secret: "0XxXxxXxxX0XXx0x0X0Xxx+xx00XxxxXXXXXxXXxXX="

zone:
  name: "example.jp"
  zonefile: "example.jp.slave"
  allow-notify: 10.0.1.1 NOKEY
  request-xfr: 10.0.1.1 tsig.example.jp
```

などを書く。

その他

NetBSD なめも [2014/6/23]

pkgsrc から NSD(net/nsd) を入れると、syslog にエラーがちまちま出る。直しとく。

- /var/run の pid ファイルが消せないと言っているので、/var/run/nsd 以下になるようにする。
 - mkdir /var/run/nsd
 - chgrp nsd /var/run/nsd
 - chmod g+w /var/run/nsd
 - nsd.conf の設定 (pidfile) を直しておくこと
 - 起動スクリプトの pid ファイルの指定もなおしておくこと
 - 起動スクリプトで /var/run/nsd を作るようにしておくこと
- /var/nsd/nsd.db と /var/nsd/nsd-xfrd.state を nsd ユーザの権限でもつくりようとする。当然作れない。/var/db/nsd 以下になるようにする。
 - mkdir /var/db/nsd
 - chown nsd:nsd /var/db/nsd
 - nsd.conf の設定 (database と xfrdfile) を直しておくこと

nsd-control について

- nsd-control は最初に nsd-control-setup しないと使えない。(忘れる。)
- nsd.conf の control-enable を yes にする。(それ以外はいじらなくてもおけ。)

/etc/rc.d/nsd の修正例。

```
--- /usr/pkg/share/examples/rc.d/nsd 2014-06-23 07:56:30.000000000 +0900
+++ /etc/rc.d/nsd 2014-06-29 11:34:44.000000000 +0900
@@ -12,9 +12,19 @@
rcvar=${name}

command=/usr/pkg/sbin/${name}
-pidfile=/var/run/${name}.pid
+pidfile=/var/run/${name}/${name}.pid
+start_precmd="nsd_precmd"

nsd_flags=${nsd_flags:-""}

+nsd_precmd()
+{
```

```
+ if [ ! -d /var/run/${name} ]; then
+     mkdir /var/run/${name} >/dev/null 2>&1
+     chgrp nsd /var/run/${name} >/dev/null 2>&1
+     chmod g+w /var/run/${name} >/dev/null 2>&1
+ fi
+}
+
+ load_rc_config ${name}
+ run_rc_command "$1"
```

あとは、nsd をインストールした時に出る、MESSAGE をよく読むこと。(旧 Ver. からの移行者むけの情報、たとえば、nsdc patch を cron に書いてるのを消してねとか書いてあるよ。)